

緑のセンターだより

NO. 202 平成 28 年 1 月 1 日発行

発行元：(公財) 札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

ハリギリ

ウコギ科ハリギリ属
Kalopanax pictus Nakai

ハリギリはウコギ科の植物で、北海道、本州、四国、九州の山地など東アジア一帯に分布し、天狗のうちわのような大きな葉を持ち、枝に刺がある落葉広葉樹です。ハリギリの名前の由来は、キリのように成長が早く、葉の形も似ていること、枝に針のような刺があることによります。別名にはセンノキ、ヤマギリ、タラセンなどがあり、漢字では針桐と書きます。

ハリギリは幹がまっすぐに伸び、高さ 20~30m、太さ 80~100 cmにもなります。幹肌は黒褐色～暗灰色で、若いときは平滑ですが、徐々に深く縦に裂けていきます。枝には太く鋭い刺がたくさんつきます。北海道には大木が多くあり、道内の最高樹齢は約 340 年とも言われています。

葉の大きさは 10~30 cm で、裂片は浅いものから葉の中ほどまで裂け、手のひら状に 5~9 裂します。先は鋭くとがり、ふちに細かくて鋭いギザギザ（鋸歯）があります。葉柄は長さ 10~30 cm です。葉のつき方は互生で、枝の先の花の下に集中してつきます。

花は淡黄緑色で径は約 5 mm、花びらは 5 枚です。球状の散形花序が総状に枝の先端につき、7~8 月に開花します。その後につく果実は球形で径 4~5 mm、やはり球状に多数集まってつきます。はじめは黄緑色ですが、10 月に熟して黒くなります。

公園樹などとして利用されるほか、材は建築・家具・器具材などに使われます。また、若芽は山菜として食用にされ、樹皮、根皮にカロサポニンを含むそうです。

木材業者の中では、ハリギリの樹皮が深く縦に裂けて刺が多く、硬めの材を「オニセン」、樹皮が平滑で、わりあい軽軟な材を「ヌカセン」と呼び、材に合わせて利用してきたそうです。オニセンは材の色は白いのですが、年輪幅が広いうえに、堅くて重く、あまり材質は良くありません。ヌカセンは年輪幅が狭くて、緻密で柔らかく、カンナをかけるとキリに似たつやが出ます。木目が明るくきれいなので、建築、家具、陳列棚のほか、クシ、バイオリンの胴、和太鼓の胴、鏡台、臼などに用いられ、特に細工物には好まれて使われたようです。また、合板材としても用いられています。

北海道は良質なハリギリ大径木の産地として知られ、本州から海を渡ってきた人たちにはケヤキに似た材が採れる良木と映ったらしい、『松前志』に「木色白くて木理櫻に異ならず」「漆以てこれをふけば櫻にまがう処なし」と記されています。

近代には、道産ハリギリはミズナラなどとともにヨーロッパへ盛んに輸出された時期がありました。特に合板の原木として評価が高く、その製品は木目の美しさから現地で Sen plywood (セン合板) と称され珍重されました。

(T.T)

〈参考文献〉「北海道主要樹木図譜」北海道大学図書刊行会、新版「北海道樹木図鑑」亜璃西社、
カラー版「日本有用樹木誌」海青社、「北海道の樹木 100」亜璃西社



ハリギリの葉

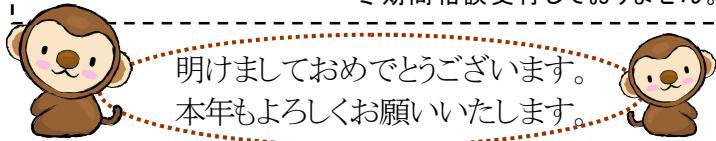


冬芽
春、枝の先端
から葉と花芽
が展開する

1月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00~12:00、13:00~16:00
☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
 (月祝日の場合は受付し、翌平日休み)
 ※ 12/28~1/4 は年末年始のため休館します。
 ※ 平岡樹芸センター・百合が原公園は
 冬期間相談受付しておりません。



新春特集 「正月を彩る樹木たち」

日本には古来から神仏に供えられる祈りの木や祝いの木が多くあり、特にお正月に飾る門松や松飾りなど新年の行事と樹木は深い関係が見られるようです。地方によっても異なりますが、多くの樹が縁起物としてお正月を彩っています。縁起物としての使い方やいわれを探ってみましょう。

松（マツ）：門松、松飾り、生け花など飾ればそれだけで正月気分になるというマツは、一年中青葉を茂らせる常緑樹であることから、永遠の命や繁栄、長寿を意味し、また神が降臨する「依代」とされ、マツの名は神様に来ていただくのを「待つ」または「祀る」からきたともいわれます。

門松には本州ではクロマツ（男松）が使われますがクロマツのない地方ではアカマツ（女松）が使われます。北海道ではトドマツが主に使われています。京都などでは「根引き松」として「根が付きますように」と願いを込め、根のついた小さなクロマツを半紙などに包み、金銀や紅白の水引で結んで玄関に飾られます。生け花などには若松（クロマツを密植栽培し徒長させたもの）、大王松（針葉が世界最長の三葉松で幼木で40~60cmある）、蛇の目松（斑入り）、苔松などが飾られます。

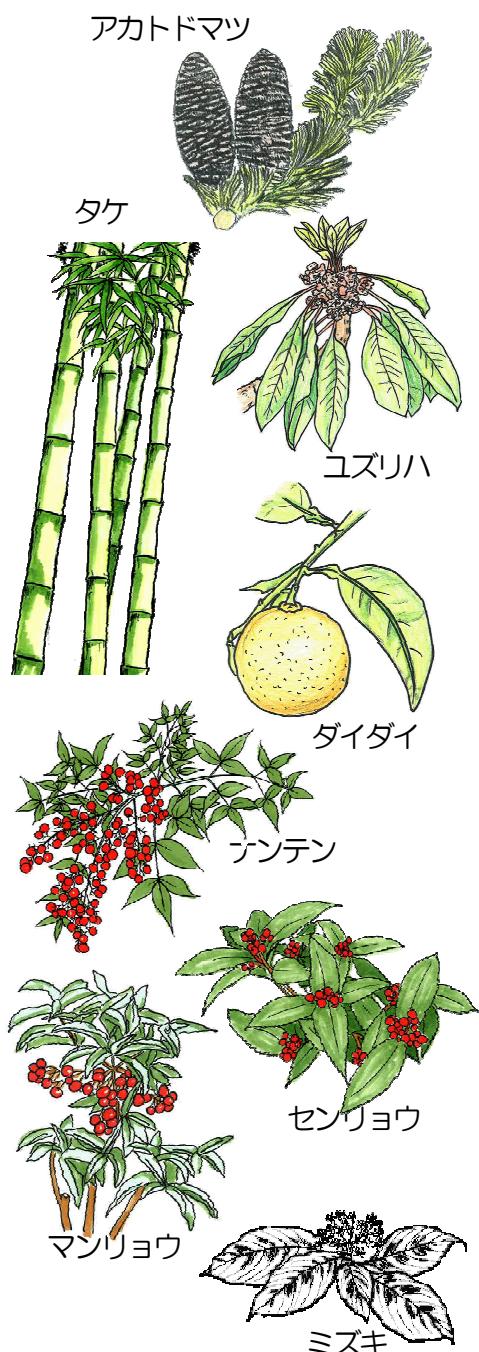
竹（タケ）・笹（ササ）：門松などに使われるタケやササは、まっすぐに伸び、繁殖力旺盛で、秩序正しくつく節目が繁栄と節操の象徴とされています。また、稈の中は神の居場所で、タケの葉がさややさやと鳴るのは神がやってきたしとと言われています。道南以北ではタケがないので本州などから取り寄せますが、道北の下川町では特産のトドマツの丸太の天を削ぎ切りし、中心をくり抜いて青竹様に仕上げたものを使った門松を製作しています。

榦（ユズリハ）：「譲葉」とも書き、常緑の葉が新旧入れ替わる様を、世代交代し家系が途絶えることなく続く象徵として、門松やしめ飾りなどに使われます。北海道にはエゾユズリハがあります。

橙（ダイダイ）：鏡餅の上にのせるダイダイは、代々の意味で果実が年を越しても木についている様から代々の繁栄と豊かな実りと豊作の願いが込められています。

南天（ナンテン）：「難転」難を転ずる、「成天」成就の吉祥に通じることから縁起物とされ、不淨を払う木として火難除け、安産や戦いの勝利のお守りにもなっています。生葉には防腐効果があるそうです。冬の風物詩の雪ウサギの目と耳をナンテンで作る地域もあり、これも縁起物としての意味合いがあるようです。

水木（ミズキ）：赤い枝ぶりが好まれ、マユダマ・お餅をつけて五穀豊穣、長寿を願うマユダマの木に使われます。地方によってはシダレヤナギを使っています。特に生け花などには冬に全体が赤味を増すサンゴミズキが多く飾られます。また、ミズキは真っ白な材なのでアイヌのイナウ（木幣）、祝膳の箸などにも使われます。



千両（センリョウ）など：おめでたい名の縁起木として愛され、常緑樹で赤い実をつけるマンリョウ（万両）やカラタチバナ（百両）、ヤブコウジ（十両）が正月を彩ります。

榊（サカキ）：神に奉納する玉串に使われます。「栄樹」は年中緑の葉を茂らせて栄える木の意で、「榊」の字は枝葉を神に供えるからとされています。サカキがない地方では姫榊（ヒサカキ）を供えます。

その他、**檜**（供花、線香の材料）、**柊**（魔除け）、**招霊の木**（神靈を招く、常陸宮様お印、1円玉の図柄）、**馬酔木**（仏前の供花）、**高野槇**（高野山の供花、悠仁様お印）、**柳**（熊野大社の神木、災難除け）、**梅**、**桃**など多くの樹が意味を持ち、各地でそれぞれ形を変え日本の縁起物として使われています。

◆カラソコエ花後の管理

冬の室内でカラソコエは一重咲き、八重咲きなど種類・形・色彩が豊富な上、丈夫で育てやすく、人気の鉢花です。日光を好むので、室内の日当たりの良い窓辺に置き、最低気温10°C以上を保ちます。生育適温は18~23°Cで、日光不足になると下葉が黄色くなるので置き場所には注意しましょう。

1. 花後の管理

カラソコエは花茎が伸びたその先にまとまって花が咲きます。また、わき芽からも次々と花茎があがってきますので、花が3割くらい枯れたら思い切ってその花茎の付け根から切り取り、次の花芽を生長させます。

長年栽培を続けると草姿が乱れ、花付きも悪くなってしまっててしまうので、1年に一度切り戻しを行いましょう。花後の5~6月、枝を株元から5~10cm程度の長さに葉を少し残すようにして切り詰めます。切り戻した枝は、挿し穂として利用できます。

2. 肥料

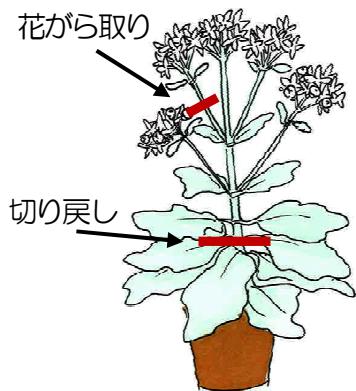
基本的には新芽が動き出す5月頃から秋まで、一般的な液体肥料を10日に1回くらい、1000倍に薄めて与えます。開花中は原則肥料を必要としませんが、1~2ヶ月に1度、リン酸分の多い液体肥料を1000倍に薄めて与えることにより、花を長く楽しむことができます。

3. 水やり

冬季の水やりは控えめにします。鉢土の表面が白く乾き、鉢を持ち上げ軽く感じたら、花や葉にかかるないよう注意して、鉢の底から水が流れ出るくらいたっぷりと与えます。鉢の受け皿には水を溜めないことが大切になります。高温多湿を嫌いますので、夏場も乾燥気味に管理します。多肉植物なので乾燥には強いのですが、根が細く根腐れを起こしやすいので水のやり過ぎに気をつけましょう。

4. 切り戻しと植え替え

植え替えは1年に1回、真夏以外の花の咲いていない5~9月に行います。一回り大きな鉢か同程度の鉢に、用土は赤玉土5+腐葉土またはピートモス3+火山礫または川砂2の混合土を使い、植え替えます。5~6月の切り戻しと一緒に行うと良いでしょう。



“温故知新”～豊平公園むかし話～1

今年は新しい緑のセンターが完成するとともに、38年間の歴史を歩んだ、現在の緑のセンターが解体される、節目の年となります。

そこで、今月から新センターのオープン（8月予定）までの間、豊平公園の歴史について少しご紹介していきたいとおもいます。

豊平公園のあるこの地域は、むかしリンゴ栽培が盛んで、のどかな風景が拡がっていました。現在の豊平警察署の土地にはリンゴ園、きたえーる側の土地には自然林と豊平墓地がありました。まだ公園の片鱗は無いように思えますが、園内のヤチダモ並木は農業用水路の護岸保護として植樹され、豊平公園正門前（米里行啓通）のドイツトウヒ並木は豊平区が豊平村だったころから存在するなど、現在に通じる風景も存在していました。

林業記録時代初期の
園内から藻岩山方向





1月～2月の催しのお知らせ

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568 <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
展示会				
緑のセンターフォト展～冬～	1月13日(水)～2月21日(日)			入場無料
園芸教室・自然教室				
冬の鉢花の病害虫防除	1月21日(木)	13:30～	1/11(月祝)～	無料
シンビジウムの育て方	2月14日(日)	〃	〃	〃
クラフト教室				
現代押し花アート体験講習会ミニ額作り「花のワゴン」	1月19日(火)	10:00～	1/11(月祝)～	2,700円

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://yuri-park.jp/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
講習会・クラフト講習・実践講座！				
キャンドルづくり	1月16日(土)	13:30～	1/11(月祝)～	300円
洋ランの育て方	1月31日(日)	13:00～	〃	130円
展示会				
市民ラン展	1月26日(火)～1月31日(日)	札幌オーキッド・ユウ・アーク	130円	
雪割草展	2月2日(火)～2月14日(日)			〃
市民ラン展(1/26(火)～1/31(日)開催)一般参加展示鉢募集				
※ 1/5(火)～1/24(日)の期間、電話にてお申し込み受付。参加費無料。詳細は百合が原公園までお問い合わせください。※				

その他の公園

イベント 内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先
川下公園ウィンターフェスティバル (毎日遊びが変わります。)	1月9日(土)～11日(月祝)10:00～ スノーキャンドル点灯 10-11日 16:00～	遊びにより要申込・有料あり	川下公園 879-5311
AKARI reflection ひかりの連鎖	1月9日(土)～3月6日(日)	直接会場へ：無料	モエレ沼公園 790-1231
冬休みにぎわいフェスタ	1月16日(土)受付 12:30～, 開始 13:00～	直接会場へ:100円	平岡公園 881-7924
サケたちのエサやり	1月16日(土), 30日(土)各 14:00～	直接会場へ	さけ科学館 582-7555
札幌ワイルドサーモンプロジェクト市民フォーラム	1月30日(土)13:30～	直接会場:札幌エルプラザへ	
のうし冬まつり	1月16日(土) 13:00～点灯 16:30～	直接会場へ:遊びにより有料	農試公園 615-3680
第2回 厚別公園冬フェスタ	1月31日(日)10:00～	遊びにより要申込・有料あり	厚別公園 894-1144
さっぽろ雪まつり	2月5日(金)～11日(木祝)	会場:大通公園 さっぽろ雪まつり実行委員会	281-6400
第10回ゆきあかり in 中島公園	2月5日(金)～7日(日)点灯 16:30～	直接会場へ	中島公園 511-3924
子りす工房こどもの日 「鬼のにんぎょうを作ろう！」	1月17日(日)10:00～, 13:30～	要申込 : 300円	西岡公園 582-0050
滝野スノーフェスティバル	2月6日(土)～7日(日)10:00～	駐車料金有・	滝野すずらん 592-2222
滝野冬花火	2月6日(土)～7日(日)18:00～	別途入園料有	丘陵公園
旭山冬のフェスティバル 2016	2月11日(木祝) 受付 9:30～開始 10:00～	直接会場へ : 有料	旭山記念公園 200-0311

「冬のまちにスノーキャンドルの灯りをともそう！2016」

「冬の公園をもっと活用しよう！」、「冬の災害について考えよう！」、「地域のコミュニケーションをはかろう！」というコンセプトで、2003年から開催されている、北のまち札幌ならではの素敵なイベントに今年も参加します。16時30分頃に一斉点灯しますので、お近くにお住まいの方は是非遊びに来てください！

また、スノーキャンドル作成に当日のボランティア参加を受付している会場もあります。「作ってみたい！」という方はお近くの会場へ行ってみてはいかがでしょう？会場により開催日時が異なります。また、持っていくものがある場合や有料イベントの場合もありますのでご確認ください。

詳細は下記の冬のまちスノーキャンドル実行委員会のサイト、または各参加会場にお問い合わせください。

暖かい格好をして参加してくださいね♪

1月16日(土)開催！

百合が原公園、農試公園、平岡公園が参加！

16:30頃
点灯予定です

1月23日(土)開催！



1月24日(日)開催！

旭山記念公園が参加！

1月31日(日)開催！

厚別公園が参加！

創成川公園、円山公園、モエレ沼公園、中島公園、前田森林公園、豊平公園、川下公園、月寒公園、平岡樹芸センター(みどりーむ)などが参加！

※点灯時間、作成ボランティア、イベント等の詳細は各会場にお問い合わせください。

☆☆☆ 冬のまちスノーキャンドル実行委員会 URL http://park.geocities.jp/sapporo_candi/ ☆☆☆